

有漢義務教育学校  
高梁認定こども園

# 大型公共事業で 大紛糾!!

新消防庁舎

令和5年3月6日から27日までの22日間、令和5年第1回3月定例会が開催され、市長からは議案52件が提出され、議案は全て可決しました。また、追加で人権擁護委員の諮問1件が提出され、適任としました。加えて、議会運営委員会から乙議案として高梁市議会の個人情報保護に関する議案1件が提出され、可決しました。

令和5年度は、令和3年度にスタートした高梁市総合計画前期基本計画の折り返し年度となります。

本年度予算は、総合計画に掲げた「健幸都市たかはし」の実現に向けて、「人口減少対策」「防災力の向上」「未来革新技術の活用」に基づく取り組みを引き続き進めていくとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策、原油をはじめとしたエネルギー・原材料の物価高騰に対する施策、行政手続きや行政システムにおけるデジタル化の推進施策、そして高梁市が宣言した「ベビーファースト宣言」「ゼロカーボンシティ宣言」を実現するための施策に予算が配分されています。

本市では、平成30年7月豪雨災害等に伴い減少した基金残高が依然として低水準のままで、合併特例措置の終了に伴う普通交付税の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の地域経済への影響や人口減少等により市税等の減収が見込まれるなど、依然として厳しい財政見通しとなっています。

3月定例会では、3つの大型建設事業が含まれる令和5年度予算について、将来に負担を先送りすることに關して激しい議論が行われました。新消防庁舎、有漢義務教育学校、高梁認定こども園は防災・救急・教育・子育てという高梁市の課題に直結する施設です。議員個々の考えが分かれ、紛糾した定例会になりました。

本市では、平成30年7月豪雨災害等に伴い減少した基金

## 総務文教委員会で附帯決議

総務文教委員会では、特に「新消防庁舎の移転」認定こども園の建設」について質疑が集中しました。

消防庁舎移転では物価高騰による建設費の高騰や、ZEB化、庁舎規模や訓練スペースなどの縮小や、見直しについて質疑が行われました。

執行部からは「消防庁舎の設計は無駄を省いた最低限とした。建設費用は資材の高騰等により上昇するが、合併特例債の適用期限内での完成を重視した」との答弁がありました。移転先の用地は当初買収することとされていましたが、約4分の1が賃貸借になったことが予算説明会まで明らかにされなかったこと、賃貸借料が30年を越えて発生することが問題視され紛糾しました。

執行部からは「用地買収がでず、賃貸借になったことは、あまり好ましいものではないが、法令に違反しているものではない。報告が遅れて申し訳ない。今後十分説明をしながら進める」と答弁がありました。

また認定こども園建設については予算規模が増しており、規模や定員、事業計画をコンパクト化できないか等が質疑されました。

執行部からは「基本設計の段階からは、1.6倍の予算計上となったが、子育て支援センターは要望もあり確保したい。面積の縮小や資材の変更等も含め検討し、できるだけ予算の範囲でやりたい」との答弁がありました。

討論には4人が立ち、うち2人の議員が予算案に反対の立場

から「大型建設事業は説明不足であり、増大した予算の見直しを求める」と討論しました。また2人の議員は賛成の立場から「大型建設事業は説明不足や将来不安もあるが、事業の圧縮

を含め努力し予算執行を望む」と討論しました。

あわせて賛成議員から「令和5年度高梁市一般会計予算」に対する附帯決議が提出され、全員一致で可決しました。



高梁認定こども園建設予定地進入路



有漢義務教育学校建設予定地



新消防庁舎建設予定地

### 議案第38号「令和5年度高梁市一般会計予算」に対する附帯決議

本予算中、次の事業の予算執行に当たっては、下記の点に十分留意し、適切な措置を講じること。

#### 記

- 1 新消防庁舎施設整備事業については、機能が低下しないよう配慮した上で、事業費の圧縮が図られるように努めること。
- 2 高梁認定こども園(仮称)施設整備事業については、適正な規模にして、保育及び教育の質が低下しないよう配慮した上で、事業費の圧縮が図られるように努めること。
- 3 有漢義務教育学校(仮称)施設整備事業については、事業費の圧縮が図られるように努めること。
- 4 上記各事業の進捗状況や変更事項については、適宜、市民や議会に情報を提供し、十分な説明を行うこと。

以上、決議する。  
令和5年3月17日

総務文教委員会